

地球のために

私たちができること



～4つの「R」をもとにごみについて考えてみよう～

4つの「R」を
順番に
心がけよう

R リデュース
REDUCE

減らす

ごみをなるべく出さないようにする

R リフュース
REFUSE

断る

いらないものを断る

1番

R リユース
REUSE

再利用する

繰り返し使えるものは使う

2番

R リサイクル
RECYCLE

再生利用する

資源として再び利用する

3番



下関市のごみの現状

●下関市のごみの現状

1年間にどのくらいごみが出ているのでしょうか。
右のグラフは、令和5年度で約8万9,000トンのごみが出ています。市民の皆さんの協力によりごみは減ってきていますが、再び増えることのないよう、一人ひとりの取組が重要です。

●一人1日当たりのごみの排出量

ごみの排出量を他の自治体と比較するとき、一人1日当たりの量で比較することがよくあります。全体の排出量だけで比べると、当然、人口の多い自治体の方が、ごみの排出量が多くなるからです。

右中段のグラフは、一人1日当たりのごみの排出量（g／人・日）です。青線が下関市、緑線が山口県平均、赤線が全国平均です。

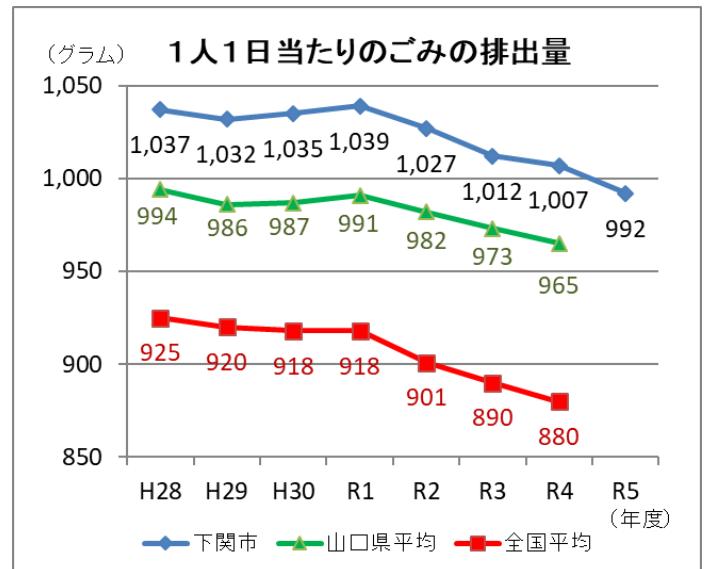
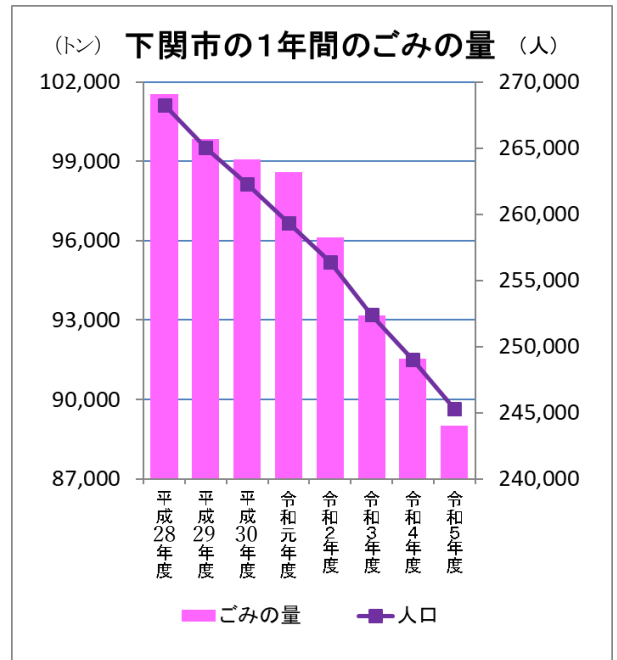
また、下の表は類似団体（中核市）との比較です。

いずれも下関市は、全国平均や類似団体平均を上回っており、ごみの排出量の少ない自治体とは言えません。

●ごみが増えると、どうなるの？

- いろいろ困ったことが出てきます。例えば、
- ・ごみを処理する時に、**たくさん（税金）が使われます。**
 - ・ごみを燃やすとCO₂（二酸化炭素）が出るから、**地球温暖化が進みます。**
 - ・ごみを埋める場所が足りなくなります。
 - ・ごみを処理する時に、**電気や燃料などのエネルギー資源が使われます。**

私たちの住む下関市が、いつまでも住みやすい町であるために、ごみの減量は欠かせません。



	都道府県名	市名	一人1日当たりの排出量(g/人・日)
1	東京都	八王子市	727
2	沖縄県	那覇市	740
3	愛媛県	松山市	754
4	大阪府	枚方市	762
5	滋賀県	大津市	780
6	愛知県	豊中市	792
7	大阪府	八尾市	792
8	埼玉県	川口市	795
9	大阪府	吹田市	796
10	奈良県	奈良市	800
11	大阪府	寝屋川市	801
12	埼玉県	越谷市	807
13	埼玉県	川越市	812
14	千葉県	船橋市	826
15	愛知県	一宮市	832
16	千葉県	柏市	844
17	兵庫県	西宮市	851
18	兵庫県	尼崎市	852
19	神奈川県	横須賀市	852
20	兵庫県	明石市	856
21	大阪府	高槻市	856

	都道府県名	市名	一人1日当たりの排出量(g/人・日)
22	福岡県	久留米市	870
23	福井県	福井市	878
24	香川県	高松市	882
25	和歌山県	和歌山市	883
26	長野県	長野市	889
27	広島県	福山市	892
28	岐阜県	岐阜市	896
29	栃木県	宇都宮市	896
30	石川県	金沢市	900
31	愛知県	豊橋市	913
32	兵庫県	姫路市	913
33	愛知県	岡崎市	914
34	群馬県	前橋市	915
35	山形県	山形市	919
36	群馬県	高崎市	925
37	大分県	大分市	926
38	鹿児島県	鹿児島市	928
39	愛知県	豊田市	929
40	北海道	旭川市	937
41	広島県	呉市	943
42	宮崎県	宮崎市	947

	都道府県名	市名	一人1日当たりの排出量(g/人・日)
43	岩手県	盛岡市	950
44	長崎県	長崎市	951
45	大阪府	東大阪市	953
46	青森県	八戸市	953
47	長崎県	佐世保市	967
48	鳥取県	鳥取市	969
49	秋田県	秋田市	971
50	福島県	いわき市	971
51	島根県	松江市	979
52	長野県	松本市	992
53	山口県	下関市	998
54	茨木県	水戸市	1,002
55	高知県	高知市	1,008
56	岡山県	倉敷市	1,018
57	山梨県	甲府市	1,019
58	青森県	青森市	1,022
59	富山県	富山市	1,023
60	福島県	福島市	1,080
61	北海道	函館市	1,115
62	福島県	郡山市	1,165

出典：環境省令和5年一般廃棄物処理事業実態調査 ※統計方法が異なるため、他の統計と数値が異なっています。

●ごみの種類と量

下関市では、どの種類のごみが、どのくらい出ているのでしょうか。下の表のとおりです。

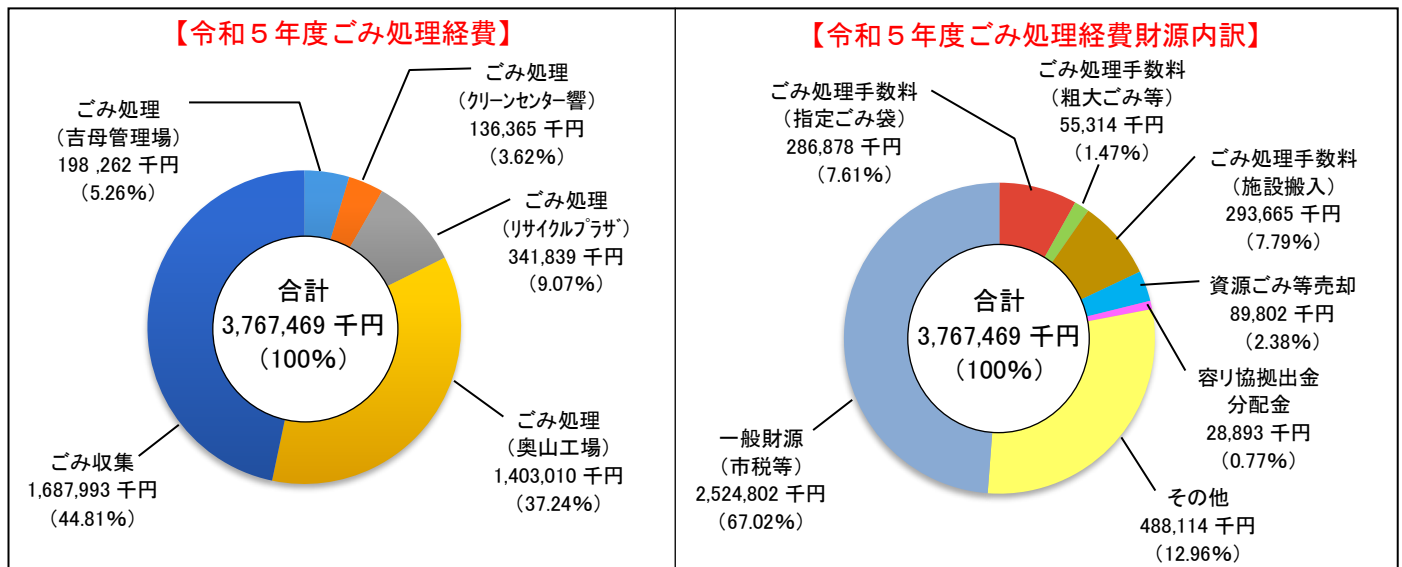
下関市は、8種10分別（燃やせるごみ、びん・缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装、古紙〈新聞紙、雑誌類、ダンボール〉、燃やせないごみ、有害ごみ、粗大ごみ）に分けて収集しています。

最も比率の高いごみは、燃やせるごみ。しかし、この中にもプラスチック製容器包装やペットボトル、古紙など、リサイクルできる物が多く混ざっています。分別をきちんとすることで、燃やせるごみは減らすことができます。また、燃やせるごみの約40%近くを占める生ごみは、水切りをしっかりと行うことで、ごみの重量を減らすことができます。

種類		ごみの年間排出量	ごみの資源化量	何になるのか
燃やせるごみ		約 6 万 7,000 トン	約 9,600 トン	セメント原料
資源ごみ	びん・缶	約 2,000 トン	約 1,270 トン	タイル、舗装、鋼材
	ペットボトル	約 600 トン	約 530 トン	ペットボトル
	プラマーク容器包装	約 1,700 トン	約 1,400 トン	パレット
	古紙類	約 2,700 トン	約 2,600 トン	新聞紙・雑誌・用紙
粗大ごみ等		約 13,000 トン	約 1,000 トン	鉄材、アルミ材
集団回収（古紙・古布・金属）		約 2,000 トン	約 2,000 トン	—
合計		約 8 万 9,000 トン	約 1 万 8,400 トン	

●ごみ処理にかかる経費

約8万9,000トンのごみを処理するのに、どのくらいの経費がかかると思いますか？令和5年度、ごみ処理にかかった経費は、下のグラフのとおり約38億円です。下関市の決算額が約1,452億3,874万円でしたので、約2.6%を占めています。



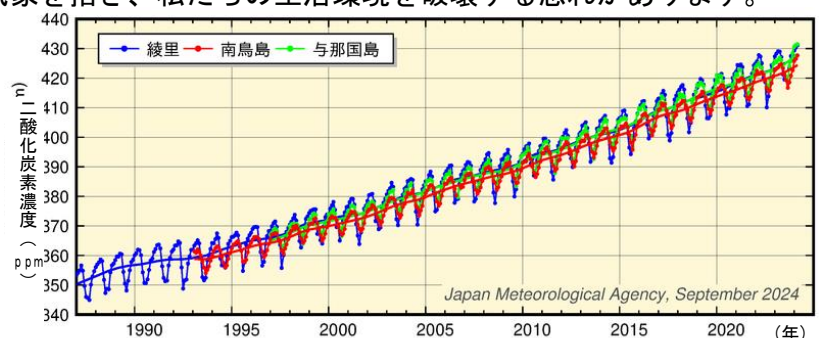
ごみ減量の必要性

ものを燃やすことによって発生する二酸化炭素（温室効果ガス）が、**地球温暖化**の一因です。

地球温暖化が進めば、砂漠化や異常気象を招き、私たちの生活環境を破壊する恐れがあります。

1750年頃の工業化以降、石油や石炭をたくさん使うようになったことにより、2020年の二酸化炭素濃度は工業化以前に比べて1.5倍近く増えました。

ごみの量が増加すれば、ごみを焼却することによって発生する二酸化炭素の量も増えるため、ごみの排出量を減らさなければなりません。



取り組もう！4つの「R」

REDUCE

どうすれば、出すごみの量を減らすことができるか？

- 必要な物だけ買う。
- 簡易包装、詰替可能な物を選ぶ。
- 使い捨ての物（割りばし、ストロー、スプーンなど）は使わない。
- マイバッグで買い物する。
- 生ごみは水を切って捨てる。

REFUSE

いらない物を断ること。

- レジ袋はもらわず、少しの買い物はシールをつけてもらう。
- 不要なダイレクトメールは断る。
- 過剰包装は断る。

食品ロスも減らそう

1. そもそも食品ロスとは？

本来はまだ食べられるのに、捨てられてしまう食べ物のこと
家庭から発生する食品ロスは、大きく次の3つに分かれます。

- ①過剰除去・・・大きく切り取られた野菜のへたや厚くむいた皮など食べられる部分を捨てること
- ②食べ残し・・・家庭や飲食店で食べきれず捨てること
- ③直接廃棄・・・賞味期限切れなどにより手つかずのまま捨てること

2. どのくらいの量を捨てているのか？

世界の10人に一人が栄養不足のなか、日本では、一人1日当たりごはんお茶碗1杯分捨てている。

3. なぜ食品ロスを減らした方がいいのか？

●環境負荷を減らせる

食品ロスを含めたごみを燃やすことで発生する、地球温暖化の原因になるCO₂（二酸化炭素）の排出量を減らせる。

●食べ物の輸入量を減らせる

日本は食料自給率が低く、食料の大部分を海外からの輸入に頼っているにも関わらず、食品ロスにより、多くの食べ物を無駄にしている。食品ロスを減らすと、海外から食べ物を買う必要がなくなる。

●無駄なお金を減らせる

食品ロスを減らすと、食べ物を作る時、買う時や焼却する時に使っている無駄なお金を減らせる。

4. 食品ロスを減らすためにできること

●買い物前に、食材を確認

冷蔵庫や食品庫にある食材の在庫を確認して買う。

●使う分、食べられる量だけ買う

まとめ買いを避け、ばら売りなど活用し、必要な分だけ買って、食べきる。

●期限表示を知って、賢く買う

利用予定と照らして、期限表示を確認する。すぐ使う食品は、**てまえどり**する。

●食材を適切に保存する

食品に記載されている保存方法に従って保存する。
野菜は、冷凍などの下処理をして、ストックする。

●食材を使いきる

残っている食材から使う。

●食べきれる量を作る

家族の体調や予定を把握して、作る量を調整する。
作り過ぎて残った料理は、別の料理に作り変えて、食べきる。

●食材が余ったら、フードバンクポストに寄附しよう。

しものせき環境みらい館1階にも設置中。



REUSE

くり返し使える物は使う。

- 繰り返し使える容器を利用する。
- 壊れた物でも修理して長く使う。
- いらなくなった本やゲーム、着なくなった服はゆずりあう。
- フリーマーケット、リサイクルショップを利用する。

RECYCLE

リサイクルを進めるために大事なことは何か。

- ごみは正しく分別する。
- ノートなどは再生紙を使用した物を買う。
- 生ごみは堆肥化容器などを利用し、堆肥として利用する。
- 店頭回収も利用する。

不用品は欲しい人に譲ろう

粗大ごみの中には、まだ、使えるものがたくさんあります。

粗大ごみとして出す前に、必要としている人へ譲ったり、欲しいものを譲ってもらいませんか？
必要とする人が繰り返し使用していくことで、廃棄される粗大ごみも減っていきます。

インターネット掲示板「ジモティー」を活用して手軽にリユースに取り組むのはどうでしょうか。

※ジモティーは個人間の取引です。ご利用の際は規約や注意事項をよく確認してください。

登録料・手数料は無料！

不用品処分を
無料で！

ジモティー

5分で投稿完了！

家具

投稿

近所でそのまま手渡し
最短当日中に取引完了！



ジモティー
二次元コード

リサイクルを進めよう

再資源化推進事業

下関市では、自治会や子ども会、婦人会など地域の団体が資源を回収し、再生業者などに引き取ってもらうことを「集団回収」といいます。

集団回収を実施した団体（あらかじめ登録が必要です）に奨励金を交付しています。

対象資源（家庭から排出される物）

【古紙類】新聞、雑誌、ダンボールなど

【古布類】古着、タオル、シーツなど

【金属類】金属くず、空き缶など

補助金額

回収した資源 1 kgにつき

【古紙類】【古布類】 4円

【金属類】 8円

生ごみ堆肥化容器購入費補助

下関市では、生ごみ堆肥化容器を購入された方に、購入費の一部を助成しています。
生ごみのリサイクルにチャレンジしてみませんか。

対象機種と補助金額 ・土地埋込式など…購入額の2分の1（上限額3,000円）

※1世帯につき2基（電気式を含む）まで

・電気式…購入額の2分の1（上限額20,000円）

※1世帯につき1基まで



正しく分別して、ごみを出そう

ごみを減量し、資源としてリサイクルするには、ごみの分別が重要です。下関市では家庭から出されるごみを8種10分別で収集しているので、正しく分別しましょう。

ごみステーションで収集するごみ

- ごみの分け方・出し方ガイドで、収集曜日を確認してください。●決められた時間までに出してください。
- 指定ごみ袋は、スーパーやコンビニなどで販売しています。
- 袋に入れることのできるごみの量は1袋10kg程度までです。●ごみ袋の口は、しっかり結んでください。

燃やせるごみ

- 生ごみ、紙くず、衣類など
- ・水をよく切ってください。
- 生ごみの約40%は水分です。



びん・缶

- 資源ごみ（リサイクルできるごみ）
- ・ラベルは、できるだけはがして。
- ・キャップは外して分別を。
- ・すすぎ洗いしてください。



プラマーク容器包装（プラスチック製容器包装）

資源ごみ（リサイクルできるごみ）



プラマークがついた
ものが対象です。

- ・すすぎ洗いしてください。



ペットボトル

資源ごみ（リサイクルできるごみ）



キャップとラベルは
プラマーク容器
包装へ。

- ・すすぎ洗いしてください。



古紙

資源ごみ（リサイクルできるごみ）



新聞紙

- ・無料
- ・45ℓ以内の
透明または
半透明の袋



雑誌類

- ・無料
- ・45ℓ以内の
透明または
半透明の袋



ダンボール

- ・無料

戸別収集するごみ

- 月2回程度の収集で、申し込みが必要です。●処理券はスーパーやコンビニで販売しています。

燃やせないごみ

- ・1袋10kg程度まで。
- ・指定ごみ袋に入らない物は、粗大ごみ。



粗大ごみ

- ・指定された額の処理券を貼る。
- ・特定家庭用機器などは販売店へ。
- ・市では収集できない物もある。

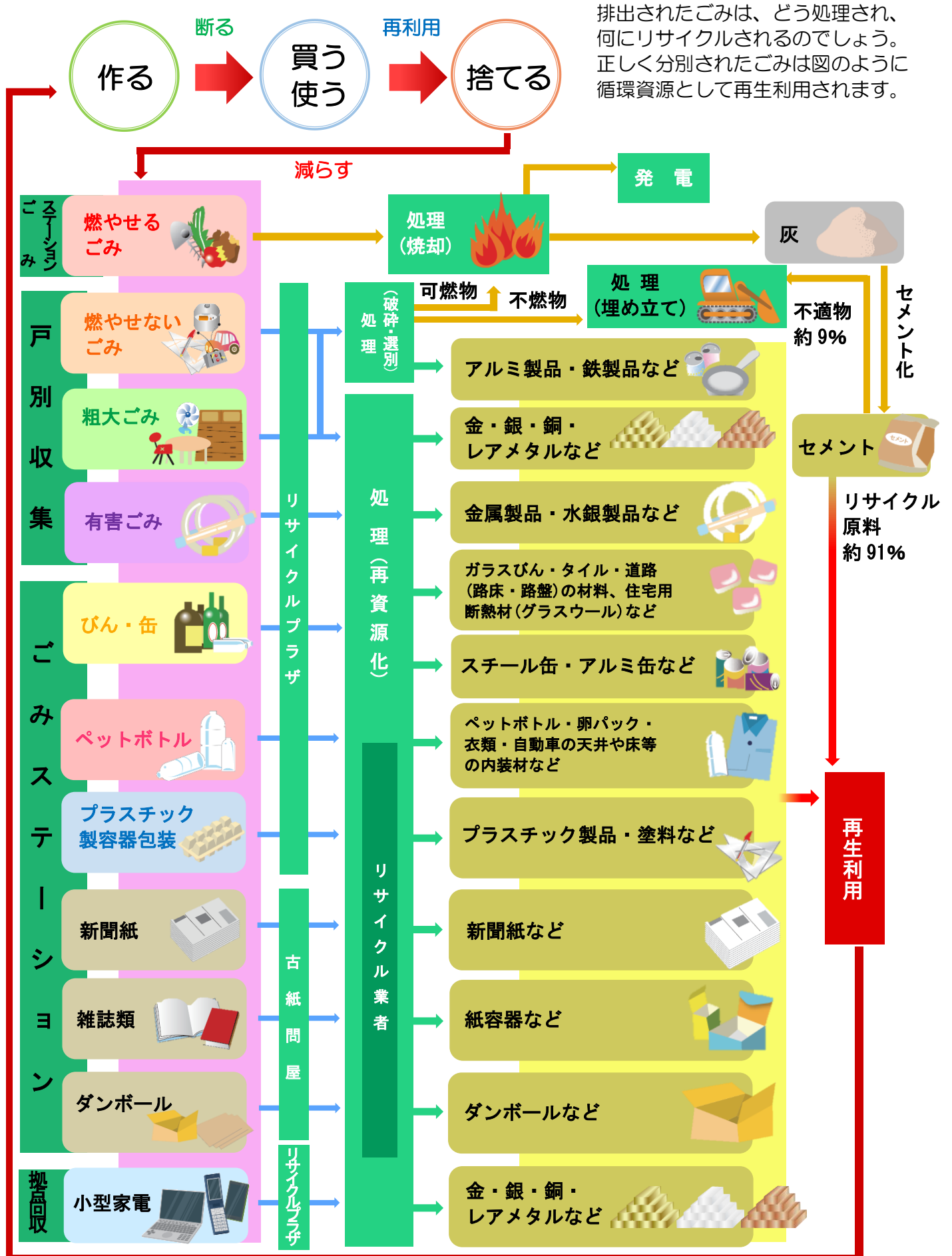


有害ごみ

- ・水銀使用廃製品（水銀体温計・温度計・血圧計、蛍光管）(ア)に該当
- ・水銀使用廃製品以外（乾電池、ライター、スプレー缶、小型充電式電池、モバイルバッテリーなど）(イ)に該当。
- ・アとイをそれぞれ透明又は半透明の袋（45ℓ以内）に入れて100円の処理券を2袋にまたぐように貼る。



ごみのゆくえとリサイクル



下関市のごみ処理施設

皆さんが出したごみは、下関市内のごみ処理施設で処理されています。

①クリーンセンター響（資源化施設・中継施設・最終処分場）

豊浦・豊北地区で収集されたごみの中継と埋立処分をしています。

○処理方式 破砕処理 ○処理能力 32 t / 日 (5h)

○埋立面積 6,600 m² ○埋立容量 49,500 m³

②吉母管理場（最終処分場）

再資源化できなかった不燃性のごみの埋立処分をしています。

○埋立面積 59,120 m² ○埋立容量 1,273,200 m³

③奥山工場（焼却施設）

可燃性のごみを焼却処分（24 時間運転）しています。

また、焼却時の熱を利用して発電を行っています。

○2基 180t/24h、170t/24h（全連続燃焼式ストーカ炉）

④リサイクルプラザ（資源化施設）

「資源ごみ」、「燃やせないごみ」及び「粗大ごみ」の選別（機械・人）、破砕、圧縮処理をしています。

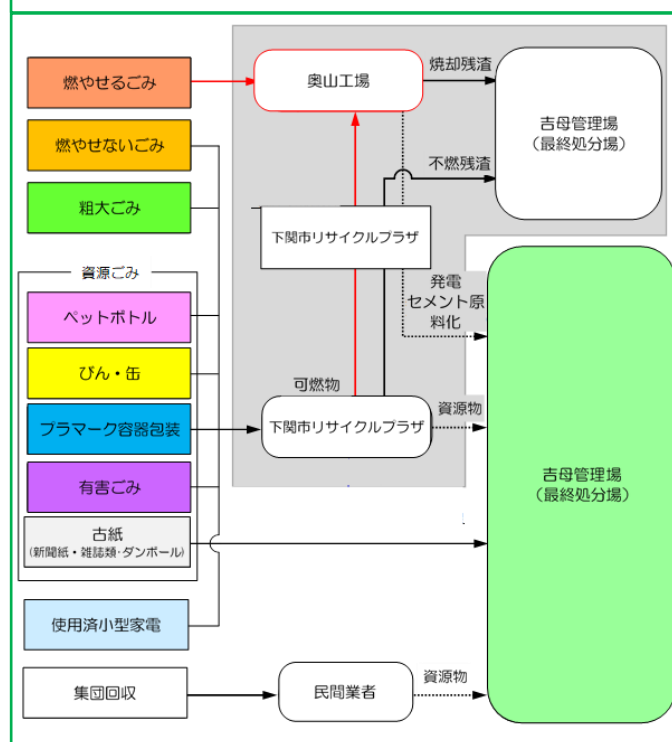
○粗大ごみ・不燃ごみ 41t/日 (5h)

○資源ごみ 72t/日 (5h)



下関市のごみ処理の流れ

旧下関市地区、菊川地区、豊田地区のごみ処理フロー図



豊浦・豊北地区のごみ処理フロー図

